

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	敬愛こども園
担当者名	齋藤 稜

1. 活動のテーマ

<テーマ>

栽培を通して、育てる事の大変さ、達成感を知る。

<テーマの設定理由>

野菜・果物への興味関心が高く、自分たちで育てるのが好きな為

2. 活動スケジュール

4月 栽培する野菜・果物を決める。

ホームセンターへ買いに行く。

苗植えをする。

5月 水やりなどをし成長を見守る。

7月 収穫

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

野菜・果物の苗 プランター 土

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

お子さまと一緒に育てたい野菜や果物を決め、ホームセンターで苗や種を購入する。
その後自分たちで土や肥料を入れ、苗を植える。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

自分たちで育てたい野菜などを決める際には電子黒板等で育てられるものなのかを話し合い、水やりなども当番などで決めるなどし、順番に行った。
収穫したものは調理などをし、美味しく食べた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

お子さま達の気づきや発見を通して会話を友達同士で行う際には言葉での伝え合いの姿から大きな成長を感じられた。栽培を通して食への興味も広がり、食育としても効果的であったと感じられた。

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	敬愛こども園
担当者名	瀬沼 詩織

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光を映してみよう！

<テーマの設定理由>

お子さまが光に触れ、性質等に興味・関心を持ち、遊びの中に取り入れている姿が見られたため。

2. 活動スケジュール

6月 サイエンスドームにて、プラネタリウム鑑賞
7月 プラネタリウム作り
9月 作成したプラネタリウムを他学年に上映する
保護者に向けたプラネタリウム上映会を開催する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

段ボール・箱・画用紙・テープ・ハサミ・カラーセロハン、ボールペン・ライト
・サイネージを使ってどんなプラネタリウムがあるか調べた。(イメージしやすくするため) 夢描きながら意見を出し合って制作できるよう、4～5人のグループを作って活動を進めた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

園外活動でサイエンスドームへ行き、プラネタリウムを鑑賞したことから、自分達でも作りたいと活動が発展した。好きな大きさの段ボールや箱に画用紙を貼って、ボールペンで光が通る穴をあけた。完成したプラネタリウムを保育室で天井に映して鑑賞すると、「他の学年の友達や保護者にも見てもらいたい!」と声があがった。そのことがきっかけとなり、プラネタリウム屋さんを開店することになった。自分達で役割分担を決め、準備等行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

プラネタリウムの活動を行うにあたり、「どんなものがいいかな?」と期待を膨らませながら制作していた。自分たちの想いを作品に反映するため、様々な意見を出し合う姿が見られた。また、プラネタリウム屋さんを回転し、他の学年の友達や保護者に見てもらうことに喜びを感じていた。保育者はお子さま主体の活動となるように、基本的には見守り、必要に応じて援助することを心掛けた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回『光』をテーマに活動を行ってきたが、素材1つで様々な活動を展開していけることが分かった。お子さまの興味・関心にあった活動を行うには、しっかりと言葉を聞き、必要なものをそろえ、環境構成を整えることが大切であると改めて感じた。環境が整っていることで、お子さま自身で活動を展開していける。

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	敬愛こども園
担当者名	丸中瑞季

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然物によって季節が移り替わっていることを感じ、のびのびと遊ぶ。
栽培や生き物の飼育を通して命の大切さを学ぶ。

幼児組になり、様々な公園に行くことが増えたり、視野が広がったことから身の回りの様々な生き物や植物に興味を持つ姿が見られた。そんな中で生き物や植物を大切にする気持ちや、野菜を育てる経験を行うことで自然や生命を尊重する心を育んでいきたいと感じたため。

<テーマの設定理由>

2. 活動スケジュール

- 1期：公園で様々な植物や生き物を見つける。栽培活動（きゅうり・トマト）
生き物や植物にも命があることを知る
- 2期：捕まえた生き物の飼育を行う。収穫した野菜でクッキングを行う
食べ物を調べて捕まえる。影遊び。
- 3期：落ち葉遊び・雪遊び（季節の自然物）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

分からないもの・初めて見たものなどをすぐに調べられるように保育室に植物や生き物の図鑑を多くした。
お花の種を植えたり、野菜の栽培を行った。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

栽培活動では、みんなで何を育てたいかを話し合い決めた。また、栽培するにあたり何が必要なのかなども調べた。→栽培に成功、食育へとつながる→表現発表で「やさいのパーティおおさわぎ」を行う。

戸外遊びの際に見つけた生き物を虫かごに入れて飼育した。

太陽が当たるところには自分の「かげ」ができることに気づき「かげふみおにごっこ」へと発展した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

植えるお花を決める際にお花が咲いたらどうしたいか尋ねると「ままにぶれぜんとする!」「おしごとがんばってるからばばにあげる!」など、おうちの方へ感謝する言葉が聞かれた。

「このむしは なにをたべる?」「あったかいところにおいてあげよう」「おみずなくなっちゃったからあげよう!」など、捕まえた昆虫の命を大切にする姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自然との関わりを意識することで、今まで気づかなかった植物や生き物に気付くことができた。また、自然との関わりが食育活動や表現発表に繋がった。

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	敬愛こども園
担当者名	小俣伽奈

1. 活動のテーマ

<テーマ>

- ・様々な楽器に触れて、音を出してみよう！（楽器遊び）
- ・音に合わせて体で表現してみよう！（リトミック）

<テーマの設定理由>

日常生活の中で歌うことや、曲に合わせて叩いたりジャンプをする姿があり、歌とリズムに興味を持っている。継続的に行っている音楽教育を通して、リズムに合わせて体を動かしたり、様々な楽器に触れながら「音」への興味関心をさらに深めるため。

2. 活動スケジュール

1期『どうしたら音が出るかな？感じるままに全身で試してみよう！』

7月 足を使う楽器に触れてみよう！ 8月 手を使う楽器に触れてみよう！

2期『様々な楽器に触れてみよう！』

9月 11月 様々な楽器に触れてみよう！

3期『音に合わせて全身で表現してみよう』『好きな楽器で表現遊び』

1～3月 リトミック・楽器演奏

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・楽器遊び…ミュージックパッド・ベルハーモニー・プッシュポンプ・打楽器セット

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- 1 期→押すと音が鳴る楽器に触れた。足を使って音を出すミュージックパット、手で押して音を出すベルハーモニー・プッシュポンプに触れる中で、音の出し方の違いに気づく。
- 2 期→様々な楽器に触れ、音の出し方を試す中で楽器の性質を知る。
- 3 期→好きな楽器を選んで演奏したり、リトミックを楽しむ。自分の好きな楽器を見つけ、音の出し方を工夫したり、音の違いに気づき全身で表現する楽しさを味わう。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

1 期→押すと音が鳴る楽器に触れる

ミュージックパットの上に乗ると、音が出ることに気づき、次はどんな音になるのか期待を持って一歩踏み出す様子や、音が出る不思議と発見にワクワクした表情で「おとがなったよ!」「ちがうおとだった!」と音の違いに気づく姿が見られた。また、ジャンプをするお子さまもあり、音の出し方を探求しながら楽しんでいた。

2 期→様々な楽器に触れる

様々な楽器を用意すると「やったー!」と大喜びし、楽器を持ち替える姿が見られた。どんな楽器があるのか興味を持って音を出す姿があり、音色や音の大きさ、高の違いを五感で味わい、友達の音や表現に気づいて楽しむ姿が見られていた。

3 期→楽器演奏・リトミック

楽器の性質を知った上で、自分の好きな楽器を選んで演奏することができた。リトミックでは、音の速さによって小走りや大きく歩く様子があったり、歌に合わせて動物になりきって表現する姿があった。





2枚以上を貼付してください。
する可能性がありますの

5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

「音」をテーマに、音の出る楽器に触れる活動を通して、お子さまたちは自分の体の動きや鳴らし方によって音が変化することに気づき、試しながら音を生み出す姿が多く見られた。特に、踏み方を変えたり、楽器を持ち替えたりする中で、音の違いを比較しながら関わる姿から、主体的に探求する力が育まれていると感じた。自分の好きな楽器を選んだり、音の出し方を工夫する姿では、お子さまの「やってみたい」という気持ちが探求を深めることに繋がっていることに改めて気づいた。友達との関りでは、友達の音や表現に気づいて見たり、同じ空間で楽しさを共有したりする経験を通して、音を介した関りの育ちが感じられた。

また、リズムでは、音の速さや高さの変化をよく聞きながら動く姿が印象的だった。音の速さや高さの違いに気づき、それに応じて動きを変えたり、止まったりするなど、音の変化を感じ取りながら体で表現する様子が見られた。音を手掛かりに感じたままにのびのびと全身で表現する姿から、お子さまたちは日常から音に関心を向けて過ごしていると感じた。今後もお子さまが音の違いや変化に気づきながら自分なりに試したり、表現できる環境を大切にしていきたい。

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	敬愛こども園
担当者名	青木 大樹

1. 活動のテーマ

<テーマ>

水

<テーマの設定理由>

水はお子さまたちが日常生活の中で触れる身近な物であり、水の感触や水温等に興味関心を深めるため。

2. 活動スケジュール

1期…ウォーターマットで遊んでみよう。

水遊びを楽しもう。

2期…水遊びを楽しもう。

3期…氷（雪・霜柱）に触ってみよう。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・水遊び…ウォーターマット・ウォーターテーブル・水遊び用玩具
- ・園庭の井戸

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ウォーターマットを使用し、感触や冷たさを感じて遊んだり、上に乗って楽しんだ。
- ・水遊びを園庭で楽しんだ。
- ・水遊びの際に園庭の井戸を使用し水の感触に触れた。
- ・霜柱や雪に戸外遊びの際に触れて遊んだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ウォーターマットでは、室内でも水が動く感触や水の温度に触れて楽しそうに遊ぶ姿がみられていた。暑い日にはウォーターマットを並べ、上に寝転がって気持ちよさそうに遊ぶ姿が見られていた。
- ・水遊びでは、全身に水を浴びながらとても楽しそうに遊ぶ姿が見られていた。井戸からお水が出てくるととても嬉しそうにしている、出てくるお水に手を伸ばす姿が見られていた。
- ・霜柱や雪に触れて遊んだ際には、冬の時期ならではのとても嬉しそうに触れる姿が見られていた。また、冷たさにも気が付くことができている、お友達と一緒に霜柱や雪を戸外で探す様子が見られていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・身近な存在であるお水がたくさん触れることができ、お子様たちにとって興味関心がわきやすい存在だと感じた。また、身近な存在だからこそ、保育の中に取り入れやすかった。



部分
能

上を貼付してください
公開可能なものを使

令和7年度(2025年度)とうきょう すくわくプログラム活動報告書(八王子市)

施設名	敬愛こども園
担当者名	宮崎愛果

1. 活動のテーマ

<テーマ>

楽器を手にとって音を出してみよう
音楽に合わせて体操や手遊びを楽しもう

<テーマの設定理由>

音楽が大好きなお子さま達なので音に合わせて自分でも音を鳴らすことができるということを感じて更に音に興味をもてるきっかけにするため。

2. 活動スケジュール

4月・5月 日常の中にはどんな音があるのかな（散策などを通して身近な音を感じる）
7月 音の出る玩具・楽器に触れて音を出してみよう（楽器や音の鳴る玩具で遊ぶ）
9月 音楽に合わせて演奏してみよう（音楽を流して思うままに演奏する）
11月 秋の戸外はどんな音がするのかな（戸外へ行き葉っぱなどを踏んだときの音を聞いてみる）
1月～3月 音楽に合わせて体を動かそう（たくさんの体操を保育者と一緒に楽しむ）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

楽器を手に取りやすいようにお子さまがすぐに取りれるようなところに設置して日ごろから音に触れられるような環境を作った。自然の中での音は保育者が積極的にお子さま達に伝えてみんなで遊びながら音を聞く時間を作った。

4. 探究活動の実践

＜活動の内容＞

活動として音に触れるだけではなく、お子さまが自ら音に触れられるように日常の中に溶け込むような環境設定をして興味関心を引き出せるようにした。戸外へ行った際の周りの音やトラックはどんな音かなとお子さまと一緒に考えていった。室内では音楽に合わせて体を動かしたりいろいろな種類の楽器を手に取り、保育者と一緒に楽器の使い方を知ることができた。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

春には戸外へ行っても視覚からの情報が優先して見て楽しんでしたが、保育者と音を見つけていくうちに外に溢れている音に気づき、保育者に伝えてくれる姿が増えてきた。楽器遊びでは保育者が使っている様子を見てやってみたいという気持ちが生まれて積極的に手に入る姿が見られている。日々音楽を流して体を動かす機会を作っていたので音楽が流れると自然と体操する姿がある。



活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(ID などで公開する可能性がありますので 公開可能なものを貼付ください。)

5. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

音をテーマに活動していく中で音を焦点に当てて見てみると色々なところに音があると感じた。特に0歳児のお子さまは音を探すのではなく、音を感じて楽しむことが主となっていると感じた。お子さまと一緒に音を探したり音を出したりする活動を通して保育者やお友達と一緒に楽しむということも感じる事ができた。引き続き音、音楽に触れて感性豊かに生活できるような環境設定をしていこうと思った。